

日本気象学会平成2年度秋季大会の告示

1. 期 日 平成2年10月24日(水)~26日(金)
2. 会 場 京都府総合見本市会館「パルスプラザ」
京都市伏見区中島堀端町21
(電話 075-611-0011, Fax 075-611-6299)
地下鉄・近鉄 竹田駅下車
3. 研究発表
 - 1) 発表は口頭またはポスターによって行う。
 - 2) 口頭発表には2種類があり, これらの選択は原則として発表者の希望による(「口頭発表の方法」参照)。
 - 3) ポスター発表は「ポスター・セッションの方法」による。
4. 講演申し込み方法

発表方法にかかわらず, 6月号末の申込用紙に記入し, 予稿集原稿を添えて申し込む。詳細は6月号に掲載される「講演予稿集原稿の書き方」および申込用紙をごらん下さい。

あて先: 〒305 茨城県つくば市長峰 1-1
気象研究所 予報研究部内
講演企画委員会 (藤部文昭)

期 限: 2年8月15日(水) 必着

5. シンポジウム

テーマは「集中豪雨」

(スペシャル・セッションは応募がないため休止します。予稿用紙・申込用紙は6月号に掲載します)

講演企画委員会からのお願い——ポスター・セッションでの動画使用について

最近の気象学会大会ではVTRなど動画を使った発表が増えてきました。そして, その多くはポスター・セッションで行われています。これはポスター・セッションの方が上映時間が長くとれるなどの理由によると思われる。

しかし, ポスター・セッションは本来, ポスター以外の発表手段を想定していませんので, VTRによる発表件数の増加につれて機器・電源の確保が難しくなってきました。このため, 当委員会としては, 当面, ポスター・セッションでの動画発表を残念ながらご遠慮頂くこと

にしました。会員の方々には, 上記の事情をご理解の上, ご協力をお願いします。

また秋季大会(京都)の口頭会場で動画が使えるかどうかについては現在調査中です。

なお近い将来, 動画など新しい発表方法を積極的に取り入れていく必要があると考えています。そのためには, 機器の整備など支援体制を確立する必要があり, 会員各位からご意見を頂きながら, 具体的な方法を検討していきたいと思っています。

講演企画委員会からのお知らせ——セッションの変更について

現行の研究発表セッション分類(内容の分類)が採用されてから約5年がたちました。最近では, 発表すべき場として適当なセッションがない, 特定の分野に発表が集中する, 内容の似た発表が別々のセッションに申し込まれるなど, 問題点が目立ってきました。これは, 研究分野の変化だけでなく, 研究者の目的意識が多様化したことにもよると思われる。

当委員会では, 今後1年程度をめどとして現行の分類を見直す予定です。その際, 会員各位のご意見を積極的

に取り入れていきたいと思っておりますので, セッション分類に関するアイデアを寄せて頂くなど, ご協力をお願いします。

当面の措置としては, 「総合・境界分野」の大項目を新設し, ここに「オゾン」, 「地表面・大気相互作用」の小項目を作ります。これは, 過去に行われたスペシャル・セッションを, 会員からの要望に基づいて一般セッションとして位置づけたものです。